

# PHAYAOLレポート 2008-06 (～二つの異なる民族～)

スタディツアー参加者からの報告 (日刊新周南 連載記事から)

藤屋侃二さん(68) 下松市幸ヶ丘 元KRY取締役ラジオ局長

2008年(平成20年)11月6日(木)

4



## 少数民族モンを訪ねる 二つの異なるモン族

NGO・シャンティ  
山口が支援しているタイ北部の山岳少数民族のモン族の祖先は中国の揚子江流域に住んで



ミャンマーでは支配民族は管区、少数民族は州に住んでいる

が、そこでも漢民族から迫害や差別を受け、一部は東南アジアのベトナムやラオスなどに移り住んだ。

現在、中国には約五百万人のモン族がいると言われるが、中国では彼らをミャオ(苗)族と呼ぶ。

またラオスやタイではメオ(猫族)と呼ぶ。しかし彼らはミャオ、メオはべつ称として嫌い、モン(自由の民)を民族名としている。

中国の呼び方でわかるように彼らは稲作をルーツと言われる民族だ。「モン」の歴史の中

中国がルーツのモン民族衣装  
— 支族によって色、形は違いますが刺しゅう入りだ



で、このモン族が十一世紀にタイ北部にハリブンチャイ王国を興したと書いた。

しかし、それは間違いで、東南アジアにはもう一つ、モン族という違う民族があり、ハリブンチャイ王国は彼らの国だった。

またまミャンマーの地図でモン州を見つけて調べてみると、そこに住むモン族は中国をルーツとするモン族とは全く違う民族という。中国がルーツのモン族の一支族と思込

むとは恥ずかしい。「MON」と表記されるハリブンチャイ王国を興したモン族は、紀元前から東南アジアに居住してモン文字を開発し、東南アジアの文字形成に大きな役割を果たした文明民族である。

戦いに敗れ、モン民族の国は消滅した。現在、その子孫がミャンマーのモン州に八十万、タイに十万余りいるという。

一方、中国がルーツ

古くから東南アジアに住むモン族の民族衣装はシンプル



のモン族は「H M O N G」と表記される。これはベトナムに移り住んだミャオ族が自称した名前に由来すると言われる。

二つのモン族はともに二千年以上の歴史を持つが、今少数民族として、支配民族に左右されながら生きていくことに心が痛む。(元山口放送取締役ラジオ局長)